

ISSP国際比較調査「環境」 単純集計結果(日本の結果)

調査の概要

調査目的	環境問題や環境保護の取り組みに対する人々の意識をとらえる。
調査時期	2020年10月28日(水)～12月2日(水)
調査方法	郵送法
調査対象	全国18歳以上
調査相手	住民基本台帳から層化無作為2段抽出 2,400人(12人×200地点)
調査有効数(率)	1,491人(62.1%)

※第23問から第30問までは日本の独自質問

—日本で重要な問題—

第1問 次のA、Bそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

A. 今の日本で最も重要な問題は何だと思いますか。

1. 医療制度	24.9	%
2. 教育	9.3	
3. 治安	3.2	
4. 環境	10.3	
5. 移民問題	1.2	
6. 経済	39.8	
7. テロ対策	0.9	
8. 貧困	6.5	
9. この中にはない	1.1	
10. わからない	2.5	
11. 無回答	0.3	

B. それでは、2番目に重要な問題は何だと思いますか。

1. 医療制度	20.8	%
2. 教育	15.8	
3. 治安	5.3	
4. 環境	13.1	
5. 移民問題	0.8	
6. 経済	22.3	
7. テロ対策	0.9	
8. 貧困	8.5	
9. この中にはない	7.4	
10. わからない	3.8	
11. 無回答	1.4	

—諸課題に対する態度—

第2問 次のA～Eの考えについて、あなたは賛成ですか、反対ですか。

それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

	1. 賛 成	2. ど ち ら か と い え ば、 賛 成	3. ど い ち え な い も	4. ど ち ら か と い え ば、 反 対	5. 反 対	6. わ か ら な い	7. 無 回 答
(%)							
A. 企業に任せておけば、日本の経済問題はうまく解決されていく	1.5	8.0	40.9	22.7	19.5	6.3	0.9
B. 収入の多い人と少ない人の所得の格差を縮めるのは、政府の責任である	21.7	31.1	29.7	6.8	4.6	5.1	1.0
C. 日本経済を守るために、日本は外国製品の輸入を制限すべきである	6.6	15.6	43.1	18.9	10.2	4.8	0.9
D. 日本の生活様式を守るために、日本は移民の受け入れを制限すべきである	14.2	22.9	32.5	15.6	8.0	5.6	1.2
E. 国際機関は、日本政府の権限を奪いすぎている	7.1	16.7	41.4	4.6	2.5	26.3	1.3

—脱物質主義的傾向—

第3問 次のA、Bそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

A. 日本が最も優先して取り組むべきことは何だと思いませんか。

1. 国の秩序を維持すること	28.8	%
2. 政府の決定に対して、国民にもっと発言させること	39.8	
3. 物価の上昇を抑えること	18.2	
4. 言論の自由を守ること	6.5	
5. わからない	6.5	
6. 無回答	0.3	

B. それでは、2番目に優先して取り組むべきことは何だと思いませんか。

1. 国の秩序を維持すること	20.3	%
2. 政府の決定に対して、国民にもっと発言させること	21.5	
3. 物価の上昇を抑えること	26.5	
4. 言論の自由を守ること	16.1	
5. わからない	13.2	
6. 無回答	2.3	

—他者への信頼—

第4問 一般的に言って、他人と接するときには、たいていの人間を信頼してよいと思いませんか。それとも、用心したほうがよいと思いませんか。「1」(用心したほうがよい)から「5」(信頼してよい)まで、あなたのお気持ちに近い番号に1つだけ○をつけてください。

1. 用心したほうがよい	14.4	%
2.	29.6	
3.	35.1	
4.	17.2	
5. 信頼してよい	2.0	
6. わからない	1.4	
7. 無回答	0.3	

—組織への信頼—

第5問 あなたは、次のA～Dの機関をどの程度信頼していますか。次のように0は「まったく信頼していない」、10は「全面的に信頼している」とした場合、あなたのお考えは0から10のどこになりますか。それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

A. 大学の研究機関

0. まったく信頼していない	1.2	%
1.	0.9	
2.	2.5	
3.	4.3	
4.	4.8	
5.	20.0	
6.	11.6	
7.	19.7	
8.	17.1	
9.	4.8	
10. 全面的に信頼している	2.6	
11. わからない	10.4	
12. 無回答	0.1	

B. 報道機関

0. まったく信頼していない	4.5	%
1.	4.0	
2.	8.0	
3.	15.6	
4.	10.6	
5.	25.3	
6.	9.4	
7.	9.7	
8.	6.2	
9.	3.2	
10. 全面的に信頼している	0.9	
11. わからない	2.6	
12. 無回答	0.1	

C. 企業

0. まったく信頼していない	1.3	%
1.	1.7	
2.	2.4	
3.	8.7	
4.	9.8	
5.	31.9	
6.	14.4	
7.	12.4	
8.	7.1	
9.	1.5	
10. 全面的に信頼している	0.8	
11. わからない	7.5	
12. 無回答	0.4	

D. 国会

0. まったく信頼していない	8.1	%
1.	8.7	
2.	10.3	
3.	17.7	
4.	13.4	
5.	19.2	
6.	8.8	
7.	4.9	
8.	3.4	
9.	0.9	
10. 全面的に信頼している	0.5	
11. わからない	3.8	
12. 無回答	0.2	

—環境問題について心配しているか—

第6問 あなたは、環境問題について、どのくらい心配していますか。「1」(まったく心配していない)から、「5」(非常に心配している)まで、あなたのお気持ちに近い番号に1つだけ○をつけてください。

1. まったく心配していない	1.5	%
2.	3.6	
3.	17.6	
4.	40.6	
5. 非常に心配している	35.4	
6. わからない	1.1	
7. 無回答	0.2	

—日本で最も重大な環境問題—

第7問 環境にかかわる問題についておたずねします。次の1～9の中で、日本で最も重大な問題は何かと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 大気汚染	5.4	%
2. 化学薬品や農薬	2.3	
3. 水不足	0.7	
4. 水質汚染	1.9	
5. 放射性廃棄物	24.7	
6. 家庭ゴミの処理	6.5	
7. 地球温暖化	48.1	
8. 遺伝子組み換え食品	1.7	
9. 天然資源の枯渇	4.7	
10. この中にはない	1.2	
11. わからない	2.4	
12. 無回答	0.2	

—気候変動の有無と原因—

第8問 最近数十年の世界の気候変動について、さまざまな議論が交わされています。

次にあげる意見のなかで、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 世界の気候は、変化していない□	0.7	%
2. 世界の気候変動の大部分は、人間の活動とは関係ない、自然界の変化によって引き起こされている	3.2	
3. 世界の気候変動は、自然界の変化と人間の活動の両方が、同じくらい影響して引き起こされている	39.6	
4. 世界の気候変動の大部分は、人間の活動によって引き起こされている	50.9	
5. わからない	4.1	
6. 無回答	1.5	

—気候変動の影響—

第9問A 【Q8で「2、3、4、5」に○をした方に】気候変動が世界全体に与える影響について、

次のように0は「極めて悪い影響がある」、10は「極めてよい影響がある」とした場合、

あなたのお考えは0から10のどこになりますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

0. 極めて悪い影響がある	18.0	%
1.	14.5	
2.	18.0	
3.	23.2	
4.	7.4	
5.	6.8	
6.	1.1	
7.	2.0	
8.	2.2	
9.	0.6	
10. 極めてよい影響がある	1.8	
11. わからない	3.7	
12. 無回答	0.7	

(該当者=1,480人)

第9問B 【Q8で「2、3、4、5」に○をした方に】それでは、気候変動が日本に与える影響について、

次のように0は「極めて悪い影響がある」、10は「極めてよい影響がある」とした場合、

あなたのお考えは0から10のどこになりますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

0. 極めて悪い影響がある	17.0	%
1.	12.4	
2.	18.0	
3.	23.4	
4.	10.5	
5.	7.4	
6.	1.5	
7.	1.8	
8.	2.0	
9.	0.6	
10. 極めてよい影響がある	1.3	
11. わからない	3.5	
12. 無回答	0.6	

(該当者=1,480人)

—環境問題に対する態度—

第10問 次のA～Fの考えについて、あなたは賛成ですか、反対ですか。それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
	賛成	ど賛成 ちらか かとい えば、	どい ちえ らない も	ど反 ち対 らか かとい えば、	反対	わ か ら な い	無 回 答
(%)							
A. われわれが生活をあまり変えなくても、科学が環境問題を解決してくれるだろう	0.5	3.0	20.8	30.9	38.9	5.0	0.9
B. われわれは、景気などの現在の問題をあまり重視せず、将来の環境問題に頭を悩ませすぎている	2.5	7.4	34.0	26.2	22.9	5.9	1.2
C. われわれが現在おこなっているほとんどすべてのことが、環境を損なっている	6.4	26.4	44.1	12.2	4.5	5.2	1.3
D. 人類の進歩が環境を損なっていることを、人々は気にしすぎている	2.5	9.1	32.0	29.5	20.3	5.2	1.3
E. 環境を守るために、日本の経済成長は必要である	15.2	31.3	35.4	5.8	3.2	8.0	1.1
F. 経済発展は、常に環境破壊を伴う	7.4	21.4	43.6	12.3	6.7	7.4	1.2

—環境保護のための負担意向—

第11問 次のA～Dそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

A. あなたは、環境を守るためなら、値段の高い品物でも買うつもりがありますか。

1. すすんで買う	2.7
2. ある程度は買うつもりだ	44.4
3. どちらともいえない	27.8
4. あまり買いたくない	16.7
5. 買いたくない	6.7
6. わからない	1.5
7. 無回答	0.2

B. あなたは、環境を守るためなら、かなり高い税金でも払うつもりがありますか。

1. すすんで払う	0.9
2. ある程度は払ってもよい	25.2
3. どちらともいえない	26.1
4. あまり払いたくない	28.8
5. 払いたくない	16.7
6. わからない	2.2
7. 無回答	0.2

C. あなたは、環境を守るためなら、今の生活水準を落とすつもりがありますか。

1. すすんで落とす	1.9
2. ある程度は落としてもよい	30.5
3. どちらともいえない	21.8
4. あまり落とすたくない	30.2
5. 落とすたくない	13.2
6. わからない	2.1
7. 無回答	0.2

—自然保護地域の減少許容度—

第11問D. あなたは、経済発展のために、日本国内の自然公園や野生生物の保護区域が減ることを受け入れてもよいと思いますか。なお、ここでいう経済発展とは、鉱業、農業、林業といった資源の採取や、住宅や道路の建設など、土地開発を伴う事業を指します。

1. すすんで受け入れる	0.9	%
2. ある程度は受け入れてもよい	12.1	
3. どちらともいえない	16.1	
4. あまり受け入れたくない	40.1	
5. 受け入れたくない	27.8	
6. わからない	2.6	
7. 無回答	0.3	

—環境保護行動の有効感覚—

第12問 次のA～Gの考えについて、あなたは賛成ですか、反対ですか。それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
	賛成	ど ち ら か と い え ば、 賛 成	ど い ち え ら な い も	ど ち ら か と い え ば、 反 対	反 対	わ か ら な い	無 回 答
(%)							
A. 環境については、私のような者がどうこうしても、何かできるようなものではない	8.3	16.4	25.6	27.9	16.6	4.4	0.9
B. たとえお金や時間が余分にかかっても、私は環境のためになることはする	7.0	38.0	40.5	6.6	3.0	4.0	0.9
C. 人生には、環境を守ることよりもっと大切なことがあると思う	7.0	13.7	43.1	18.3	11.7	5.2	1.1
D. 私だけが環境のために何かをしても、他の人も同じことをしなければ、あまり意味がないと思う	24.1	34.3	16.8	14.2	6.9	2.9	0.8
E. 環境汚染について言われていることの中には、大げさなものが多いと思う	3.0	8.2	32.7	27.2	20.9	6.8	1.2
F. 私の暮らし方が、環境にやさしいか、それとも害を与えているかどうか判断するのは難しい	8.6	25.0	38.8	14.3	4.9	7.6	0.8
G. 環境問題は、私の日常生活に直接影響を及ぼしている	11.5	30.0	38.2	7.1	3.4	9.1	0.7

—環境に対する危険性の認識—

第13問 次のA～Gについて、あなたはどのようにお考えですか。
それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
(%)	極めて危険だと思う	かなり危険だと思う	多少危険だと思う	あまり危険とは思わない	まったく危険はないと思う	わからない	無回答
A. 一般的に、自動車の排気ガスによって起きる大気汚染は、環境にとって危険だと思いますか	13.5	39.6	41.0	3.2	0.4	1.9	0.3
B. 一般的に、工業によって起きる大気汚染は、環境にとって危険だと思いますか	19.6	49.6	26.8	1.9	0.1	1.6	0.3
C. 一般的に、農業で使われる農薬や化学肥料は、環境にとって危険だと思いますか	10.1	27.0	45.0	13.5	0.7	3.6	0.3
D. 一般的に、日本の川や湖などの汚染は、環境にとって危険だと思いますか	15.4	40.6	34.1	6.3	0.5	2.4	0.5
E. 一般的に、気候変動による世界的な気温の上昇は、環境にとって危険だと思いますか	35.3	39.4	18.6	3.2	0.9	2.0	0.6
F. 一般的に、食品の遺伝子組み換えは、環境にとって危険だと思いますか	12.2	25.2	33.5	14.1	1.9	12.6	0.6
G. 一般的に、原子力発電所は、環境にとって危険だと思いますか	31.7	27.0	24.8	9.3	1.5	5.3	0.3

—環境保護に有効な取り組み—

第14問 次のA、Bそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

A. 日本企業に対して、環境保護に取り組ませる方法として、次のうちどれが最も効果があると思いますか。

1. 環境を破壊した企業に重い罰金を課す	18.8
2. 環境保護に取り組む企業を税制上優遇する	42.1
3. 環境保護に取り組むことのメリットについて、企業にもっと情報提供や指導をする	31.9
4. わからない	7.1
5. 無回答	0.2

B. それでは、日本の一般の人たちに対して、環境保護に取り組ませる方法として、次のうちどれが最も効果があると思いますか。

1. 環境を破壊した人に重い罰金を課す	13.7
2. 環境保護に取り組む人を税制上優遇する	29.8
3. 環境保護に取り組むことのメリットについて、人々にもっと情報提供や指導をする	50.2
4. わからない	6.1
5. 無回答	0.1

—自然の中で過ごすことについて—

第15問 あなたは、自然の中で過ごすのがどのくらい好きですか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. まったく好きではない	1.7
2. 少しは好きである	12.7
3. ある程度好きである	39.3
4. かなり好きである	27.8
5. 非常に好きである	17.4
6. わからない	0.9
7. 無回答	0.3

—自然の中でのレジャー体験—

第16問 あなたは、この1年の間に、ハイキングや野鳥観察、海水浴、川遊び、スキー、その他の野外レジャー、あるいは、自然の中でくつろぐようなことをどの程度行いましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 毎日のように	2.7	%
2. 週に数回	5.1	
3. 月に数回	17.9	
4. 年に数回	38.2	
5. まったくしなかった	34.7	
6. わからない	1.1	
7. 無回答	0.3	

—飛行機に乗る頻度—

第17問A あなたは、この1年の間に、飛行機を利用した移動を何回しましたか。往路、復路、乗り換えで複数回利用した場合でも、1回分の移動として数えてください。

1. まったくない	73.6	%
2. 1～2回	12.1	
3. 3～5回	2.7	
4. 6～9回	0.6	
5. 10回以上	1.0	
6. わからない	7.8	
7. 無回答	2.1	

—車に乗っている時間—

第17問B あなたは、ふだん、車やバイク、トラック、バンなどの自動車両に、1週間に何時間くらい乗っていますか。ただし、公共交通機関は除いてお答えください。また、貸し切りバスやミニバス、乗合タクシーも除いてお答えください。

1. まったくない	14.1	%
2. 1～5時間	42.3	
3. 6～9時間	10.3	
4. 10時間以上	22.5	
5. わからない	9.9	
6. 無回答	0.9	

—肉を食べる頻度—

第17問C あなたは、ふだん、牛肉やラム(羊)肉、あるいはこれらを含んだ食品を1週間で何日くらい食べていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 0日	11.0	%
2. 1日	23.7	
3. 2日	20.3	
4. 3日	19.0	
5. 4日	8.0	
6. 5日	6.0	
7. 6日	2.6	
8. 7日	3.2	
9. わからない	6.0	
10. 無回答	0.1	

—自宅の部屋数—

第18問 あなたのお宅には、いくつ部屋がありますか。台所、洗面所や浴室、トイレ、車庫、バルコニー、廊下やウォークインクローゼットは含めないで数えてください。

1. 1部屋	2.7	%
2. 2～3部屋	16.4	
3. 4～5部屋	44.5	
4. 6部屋以上	33.8	
5. わからない	2.0	
6. 無回答	0.6	

—環境保護のためにしていること—

第19問 次のA、Bそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

A. あなたは、廃品回収などによるリサイクル(資源再利用)のために、びんや金属、プラスチック、新聞紙などを分けることを、どの程度心がけていますか。

1. いつも心がけている	66.3	%
2. 心がけていることが多い	25.5	
3. 時々は心がけている	6.6	
4. まったく心がけていない	0.7	
5. 自宅近くでは、廃品回収などのリサイクルは行われていない	0.3	
6. 無回答	0.7	

B. 環境を守るために、あなたはどの程度、環境に害を及ぼすと思われる製品を買わないよう心がけていますか。

1. いつも心がけている	8.7	%
2. 心がけていることが多い	39.0	
3. 時々は心がけている	42.9	
4. まったく心がけていない	8.7	
5. 無回答	0.6	

—環境保護団体の会員か—

第20問 あなたは環境保護を主な目的とした団体の会員ですか。

1. はい	1.3	%
2. いいえ	98.1	
3. 無回答	0.6	

—環境保護運動への参加—

第21問 次のA～Cについて、あなたがこの5年間に経験がある場合は「はい」、経験がない場合は「いいえ」に1つずつ○をつけてください。

	1.	2.	3.
	は	い	無
	い	え	回
			答
(%)			
A. 環境問題に関する請願書や要望書に署名した	7.2	91.1	1.7
B. 環境保護団体に寄付をした	5.6	92.8	1.7
C. 環境問題で抗議集会やデモに参加した	0.2	97.9	1.9

—居住地域の環境問題や異常気象—

第22問 あなたがお住まいの地域では、この1年の間に次のA～Cによって、どの程度影響を受けましたか。それぞれについて、1つずつ○をつけてください。

	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
	まったく影響を受けなかった	少しは影響を受けた	ある程度影響を受けた	かなり影響を受けた	非常に影響を受けた	わからない	無回答
(%)							
A. 大気汚染	42.2	21.3	7.5	1.7	0.5	25.6	1.2
B. 水質汚染	55.2	12.2	4.1	0.9	0.3	26.0	1.3
C. 暴風雨や干ばつ、洪水、熱波、寒波などの異常気象	30.8	30.9	15.0	6.8	5.0	10.7	0.9

—日常生活で環境に配慮していること(MA)—

第23問 ふだんの生活の中で、あなたは、次に示したようなことに気をつけていますか。あてはまるものがあれば、いくつでも番号に○をつけてください。

1. 買物をする時、無駄な包装を断ったり、買物袋を持参したりする	86.7
2. 詰め替え用製品を使うようにしている	74.8
3. できるだけゴミを減らす	44.7
4. 不用品はリサイクルに出す	40.8
5. 電気やガスをこまめに消す	67.9
6. 水のむだづかいを減らす	60.8
7. 太陽光発電や太陽熱温水器を利用している	11.2
8. 割りばしを使わない	25.2
9. マイボトル(自分用の水筒やカップなど)を持ち歩くようにしている	49.2
10. その他	2.2
11. 特に気をつけていることはない	1.8
12. 無回答	0.5

—レジ袋をもらう頻度—

第24問 今年7月から、全国の小売店で、プラスチック製のレジ袋の有料化が義務付けられました。あなたは、レジでレジ袋を、どの程度もらっていますか。

A. 有料化が義務付けられる前(今年6月以前)と、B. 有料化が義務付けられた後(今年7月以降)でそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

なお、レジでもらうレジ袋は、有料のものだけではなく、無料のものも含まれます。

A. 有料化が義務付けられる前

1. 毎回もらっていた	52.9
2. 必要なときにだけもらっていた	41.4
3. まったくもらっていなかった	5.2
4. 無回答	0.5

B. 有料化が義務付けられた後

1. 毎回もらっている	2.8
2. 必要なときにだけもらっている	47.3
3. まったくもらっていない	49.4
4. 無回答	0.5

—どんな袋を使っているか—

第25問 それでは、店で買った商品を袋に入れる必要があるとき、主にどのようにしていますか。

A. 有料化が義務付けられる前(今年6月以前)と、B. 有料化が義務付けられた後(今年7月以降)でそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

なお、レジでもらうレジ袋は、有料のものだけではなく、無料のものも含まれます。

A. 有料化が義務付けられる前

1. レジでもらうレジ袋に入れていた	67.8
2. 持参したレジ袋に入れていた(再利用を含む)	4.9
3. マイバッグ(エコバッグ・買い物かごを含む)に入れていた	25.1
4. その他	1.3
5. 無回答	0.9

B. 有料化が義務付けられた後

1. レジでもらうレジ袋に入れている	7.7	%
2. 持参したレジ袋に入れている(再利用を含む)	13.2	
3. マイバッグ(エコバッグ・買い物かごを含む)に入れている	76.9	
4. その他	1.3	
5. 無回答	0.9	

—レジ袋の有料化はプラごみの削減につながるか—

第26問 あなたは、レジ袋の有料化が、プラスチックごみの削減につながると思いませんか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 削減につながる	27.6	%
2. どちらかといえば、削減につながる	42.7	
3. どちらかといえば、削減にはつながらない	20.0	
4. 削減にはつながらない	8.3	
5. 無回答	1.4	

—有料化がプラごみの削減につながらないと思う理由(MA)—

第27問 【Q26で、「3、4」に○をした方に】レジ袋の有料化がプラスチックごみの削減につながらないと思う理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. レジ袋は、値段が安く、購入しても負担にならないから	23.0	%
2. レジ袋は、家庭でゴミ袋などにも使えて便利だから	58.0	
3. マイバッグが普及していないから	3.8	
4. ペットボトルなどのプラスチック製品も大量に使われているから	64.8	
5. プラスチックのリサイクルが進んでいないから	25.3	
6. プラスチックごみの削減について関心が高まっていないから	19.6	
7. その他	10.6	
8. 無回答	4.3	

(該当者 = 443人)

—重視すべきエネルギー源—

第28問 将来のエネルギー需要に対応するために、日本は、次のどのエネルギー源を重視すべきだと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 石炭・石油・天然ガス	5.1	%
2. 原子力	5.6	
3. 太陽光や風力、水力エネルギー	60.8	
4. 植物由来の燃料(バイオ燃料)	9.7	
5. この中にはない	2.3	
6. わからない	15.0	
7. 無回答	1.5	

—原発事故による自然環境への影響—

第29問 2011年に起きた東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の飛散や汚染水で、自然環境は、どの程度影響を受けたと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. かなり影響を受けた	54.5	%
2. ある程度影響を受けた	33.1	
3. あまり影響を受けていない	8.5	
4. まったく影響を受けていない	2.7	
5. 無回答	1.3	

—日本の取り組みは進んでいるか—

第30問 国際社会は気候変動に関して、経済活動で排出される温室効果ガスの削減をめざしています。あなたは、日本の取り組みはどの程度進んでいると思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. とても進んでいる	3.3	%
2. 少し進んでいる	33.5	
3. あまり進んでいない	53.6	
4. まったく進んでいない	8.0	
5. 無回答	1.6	

サンプル構成

全体	男女		年代					
	男性	女性	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1,491	709	782	146	164	243	265	262	411
100.0%	47.6	52.4	9.8	11.0	16.3	17.8	17.6	27.6

全体	男の年代						女の年代					
	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1,491	77	88	115	118	124	187	69	76	128	147	138	224
100.0%	5.2	5.9	7.7	7.9	8.3	12.5	4.6	5.1	8.6	9.9	9.3	15.0

全体	都市規模				
	特別区と人口100万以上の市	人口30万以上の市	人口10万以上の市	人口5万以上の市町村	人口5万未満の市町村
1,491	328	326	383	223	231
100.0%	22.0	21.9	25.7	15.0	15.5